

令和4年度 「東京藝大アーツプロジェクト実習」 募集要項

1. 講座趣旨

近年、日本全国や様々な地域で自治体や企業等と連携したアーツプロジェクトの要望が増えており、一方では、アーツプロデュースの人材が不足しています。

本学における専門教育では、これまで専門領域の技術や知識等を提供し、優れたアーティストや教育者、研究者を輩出してきましたが、急激な社会の変化のもと、アーティストに求められる資質・能力も一層多様化している現実があります。

そうした状況に対応するために、社会連携センターでは、社会において生きて働く様々な力(プロデュース力、コーディネート力、コミュニケーション力など)を養うことのできる「東京藝大アーツプロジェクト実習」講座を開設します。

基礎講座と実践講座から構成される本講座は、小規模なアーツプロジェクトを中核として、自らの専門実技を生かしながら、主体的にプロジェクトを企画立案・運営したり、コーディネートしたりすることのできる人材の育成を目指すものです。

また、受講修了者には、資格(修了)証明書「文化芸術アソシエイツ」を授与いたします。

<文化芸術アソシエイツとは>

この用語は、そもそもは、文化庁と芸術系大学コンソーシアム(JUCA)との連携事業(若手人材育成)で使われた称号で、基礎講座を受講し、かつ復興支援プロジェクトに関わった若手アーティストに履修証明の証として与えたものです。この用語の商標は、東京藝術大学が保持しております。

「文化芸術アソシエイツ」の基本的な考え方としては、実技系学生(卒業生)が美術作家、演奏家と協働(コミュニケーション)しつつ、地域にある「文化芸術資源」を再発掘(利用)し、芸術(アーツ)、文化、産業、食、祭り、遺産など様々な他分野を取り込んだアーツプロジェクトの企画運営等のリーダーと定義しております。

2. 応募資格

東京藝術大学に所属する学部生および大学院生のうち、アーツプロデュース関連分野に興味がある者で、下記5に表記される基礎講座(必須)と実践講座(選択必須)に参加できる者とする。

3. 定員

全体で40名を予定 ※正規受講生でなくても基礎講座(①～③)に限っては聴講可とする。

※ただし各プロジェクト(実践講座)の定員は担当教員の判断により設定する場合がある。

4. 履修期間

8ヶ月(令和4年6月開講～令和5年1月修了)

5. カリキュラム等に関して

令和4年度 東京藝大アーツプロジェクト実習は、基礎講座と実践講座に区分し、基礎講座は次の通り、令和4年6月の間、東京藝術大学内で座学形式により実施する。また、実践講座はアーツプロジェクト・コーディネーター(指導教員)によるインターン制度を導入し、アーツプロジェクト・コーディネーターと一緒に、アーツプロジェクトを実施する。受講時に実践講座のアーツプロジェクト・コーディネーターのうち指導を希望する教員名を選択する必要がある。

(1) 基礎講座

回	実施日時/場所	テーマ	担当教員
初回講義	2022年6月9日(木) 18:00~20:00 /音楽学部(5-109)	初回ガイダンス、プロジェクト紹介等	佐野靖 教授、中村政人 教授、伊藤達矢 特任教授、宮本武典 准教授
基礎講座①	2022年6月17日(金) 18:00-19:30 /音楽学部(5-109)	「音楽で社会課題を解決する～横浜みなとみらいホールの取り組みを通して」	新井陽子 客員教授
基礎講座②	2022年6月21日(火) 18:00-19:30 /音楽学部(5-109)	「エンターテインメントと芸術」	千住明 客員教授
基礎講座③	2022年6月23日(木) 18:00-19:30 /音楽学部(5-109)	「観客と作品のインターフェース」	八谷和彦 教授
最終講義	2023年1月中を予定	詳細は追って案内	佐野靖 教授、中村政人 教授 等

(2) 実践講座

アーツプロジェクト・コーディネーターの氏名及び所属	実施地域	アーツプロジェクトのテーマ・概要
宮本 武典 准教授 東京藝術大学美術学部	丸の内	<p>テーマ：「日本一のビジネス街が求める〈アート体験〉とは？」</p> <p>概要：国内外のグローバル企業が集積し、日本経済の屋台骨を支える「丸の内」。その超高層ビル群は皇居に隣接し、江戸城の区画を由来とする城塞都市としての記憶を土台に発展してきました。近年ではショッピングエリアとしても活況し、パブリックアートや都市緑化などビジネスだけではない総合的な街づくりが進められています。本講座では丸の内を象徴する「丸ビル」を舞台に、三菱地所と東京藝大が共同開催するアートイベント「藝大アーツイン丸の内2022」の制作プロセスに並走しながら、都市開発の最前線で地域×アーツを実践していきます。音楽プログラムの組成には尺八演奏家・藤原道山先生にも加わっていただき、江戸-東京文化の多層性を丸の内からさまざまに表現・発信していきます。</p>
佐野 靖 教授 東京藝術大学音楽学部	千 住	<p>テーマ：「地域活性化につながるアウトリーチを構想・展開する」</p> <p>概要：この実践講座では、「アウトリーチ」の概念を広く捉え、千住校地などを拠点に、多様なアウトリーチを仕掛け、地域活性化に資するアーツプロジェクトの方法を探究します。具体的には、新井鷗子先生による「だれでもピアノ」や、サクソフォーン奏者の上野耕平氏による音楽アウトリーチなど複数のプロジェクトを設定し、受講生が選択できるようにします。プロジェクトの内容に関しては、随時更新して行きます。</p>
伊藤 達矢 特任教授 東京藝術大学社会連携センター	取 手	<p>テーマ：「生活圏のアートプロジェクトが街の資源と表現をつなぐ」</p> <p>概要：多様な人々の生活の場である地域社会で行われるアートプロジェクト。取手校地の「藝大ファクトリーラボ」及び「藝大食堂」と野外空間、駅ビルの産官学連携事業拠点「たいけん美じゅつ場」を拠点として活用し、場・人材・街の特性など種々様々な地域のリソースと、生活者、そして芸術をつなぐプロジェクトを企画します。トライアルは11月末の「取手藝祭」で実施。取手校地のフィールドと、地域で20年以上続く取手アートプロジェクトが持つ基盤をベースに、現在を生きる人々とつながる芸術活動の可能性を探り、学び合います。</p>
中村 政人 教授 東京藝術大学美術学部	上 野	<p>テーマ：「創建400年を向かえる寛永寺を舞台にアーツプロジェクトを共創する」</p> <p>概要：本アーツプロジェクト実習は、PDCAサイクル（Plan計画/ Do実施/ Criticism批評/ Awareness気づき）の創造プロセスに沿って進めます。まず歴史的、建築的、文化材的多様な「批評的視点」をもって寛永寺をリサーチします。リサーチで見出された論点からディスカッションしワークショップ等を行いビジョンの基となる「気づき」を共創します。そして見出されたビジョンから具体的プロジェクト内容を「計画」し「実施」します。参加学生は、プロジェクトを実現するための役割を担い実現に向かいます。また、本実習の成果は、国際芸術祭「東京ビエンナーレ」とも連携し広く公開する予定です。</p>

※随時実践講座候補地が追加される場合もあります。

6. 受講申込方法

Googleフォーム（[社会連携センターのホームページ内設置](#)）にて受講申込を行う。なおフォーム内容は、「自身の専攻・専門分野」「創作、演奏、研究活動歴」「受賞歴」などを事前聴取する。

7. 申込期間

令和4年5月18日（水）～6月1日（水）12：00締切

8. 受講通知

令和4年6月3日（金）までに受講申込者に通知する

9. 修了要件

出席率、インターン態度及びレポート等により評価を行い合格した者

10. 問合せ先

東京藝術大学社会連携センター教育推進マネジメント部

E-mail sharen-c@ml.geidai.ac.jp

11. 特記事項

- ・本年度は単位の認定対象ではありません。
- ・今後のCOVID-19感染状況やその他都合により変更・中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・基礎講座は必須の参加をお願いしていますが、万が一参加が難しい場合に救済措置を用意する予定です。その際は受講時にご相談ください。
- ・応募の際に提出いただく個人情報は、本講座の関連業務のみに使用し、それ以外に使用することはありません。